

# 駐車料無料の会場に変更しました！

## 無料勉強会

### 総務省統一基準による財務書類作成をめぐる実務3視点

統一基準による財務書類作成の諸準備が、各自治体で加速しております。そして、総務省「財務書類作成要領」の行間を埋める様々な営みが始まりました。

自治体実務の中軸は、公会計を担う人材の育成・附属明細書作成等の効率化・システム選択基準の3視点です。

#### ■公会計を担う人材育成とは？

固定資産台帳の公表や解りやすい住民向け決算説明会の実施、公共施設等総合管理計画等への活用など、統一基準による公会計では数字的根拠を伴う情報発信が多くなります。

公会計の目的完遂のためには、多くの自治体職員に公会計の目的が正しく理解されることが重要です。そして、特有の「ローテーション」人事政策の制約は、自治体内部に相当の層として公会計を担う人材形成を求めます。

さらに、発生主義・複式簿記を担当する人材には、簿記が持つ厳密性に立ち向かう真摯な態度と共に、会計数値など経済取引に対する一定の知識と理解が要請されます。

このため人材の育成には、相当の期間と特別の訓練過程が必要とされます。

#### 講師とテーマのご紹介

■宮澤 正泰 氏 13:00~14:30+質疑応答

#### 「統一基準による財務書類作成と人材育成」

～公会計改革プロジェクトの組織づくりと庁内人材育成のポイント、住民向け決算説明会の内容と効果・課題、統一基準による財務書類作成をめぐる習志野市の取り組み。

＜講師紹介＞習志野市会計管理者。1981年市役所勤務。総務省各種委員、千葉県市町村課他講師。

公会計改革プロジェクトの組織づくり(第一法規)、公会計が自治体を変える！(第一法規)、バランスシート探検隊について(第一法規)、公共施設マネジメントと財務報告書の連動について(地方自治職員研修 2012年8月号)ほか。

#### ■附属明細書作成の効率化とは？

統一基準の決算業務では、資産負債内訳簿が7種類、16種類の附属明細書の作成が必要です。

棚卸法(手集計)で作成される「資産負債内訳簿」と総勘定元帳から誘導される「附属明細書」の金額不一致が多く、完全合一を図るための悉皆調査が必要となります。

膨大な時間が投入される(だろう)決算整理業務に対し、効率化・自動化が期待されます。

■杉山 隆 氏 14:45~15:20

#### 「資産負債内訳簿と附属明細書の作成方法と効率化」

～資産負債内訳簿と附属明細書の関係性、数字が異なる場合、明細誤りの有無と原因、解決方策3案。

＜講師紹介＞秋田中央税理士法人・安心経営(株)代表取締役、公会計認定コンサルタント。秋田県内自治体の公会計業務支援8年目。固定資産台帳の整備、財務書類作成、財務分析・改善提案、総合管理計画の策定、下水道事業の法適化支援などに従事。地方公会計統一基準の資産負債内訳簿と附属明細書の作成方法(東峰書房、2015年10月出版予定)。

#### ■システムの選択基準とは？

システム無しには公会計業務は進みません。

国が無償配布する標準ソフトウェアを多くの自治体は選択候補としましたが、当初予算化に必要な情報が不足し、特別なミドルウェアの導入と費用の多額化など、問題が山積・複雑化しております。

事務事業[施策事業]行政コスト計算書による行政評価や予算編成への活用など、自治体の現場に軸足を置いたシステム選択基準はどうあるべきでしょうか？

■黒川 雅康 氏 15:20~16:50(質疑応答時間込)

#### 「財務書類作成システムの選択基準と必要情報自動化」

～地方自治体支援の実績、PPPver.5の開発コンセプト、執行データの資産と費用の振り分け、標準ソフトウェアとPPPの対比、事務事業・施策事業行政コスト計算書の作り方と活かし方、予算編成への活用。

＜講師紹介＞株式会社システムディ公会計ソリューション事業部サポートセンター課長。習志野市、豊田市、天童市、海老名市など、多数の自治体において公会計システムの面から財務書類作成業務を運用サポート。

【日時】2015年10月16日(金) 13:00~17:00 【場所】秋田テルサ 5F

定員50名になり次第締め切ります。

秋田市御所野地藏田3-1-1

TEL: 018-826-1800

駐車料無料

FAX 送信先 FAX 0120-40-2488

貴自治体名・団体名	ご参加名	
	部署	役職
お問い合わせ	お名前	
	お名前	
	ご連絡先	
	TEL	FAX
	E-mail	

協力 一般社団法人 地方公会計研究センター

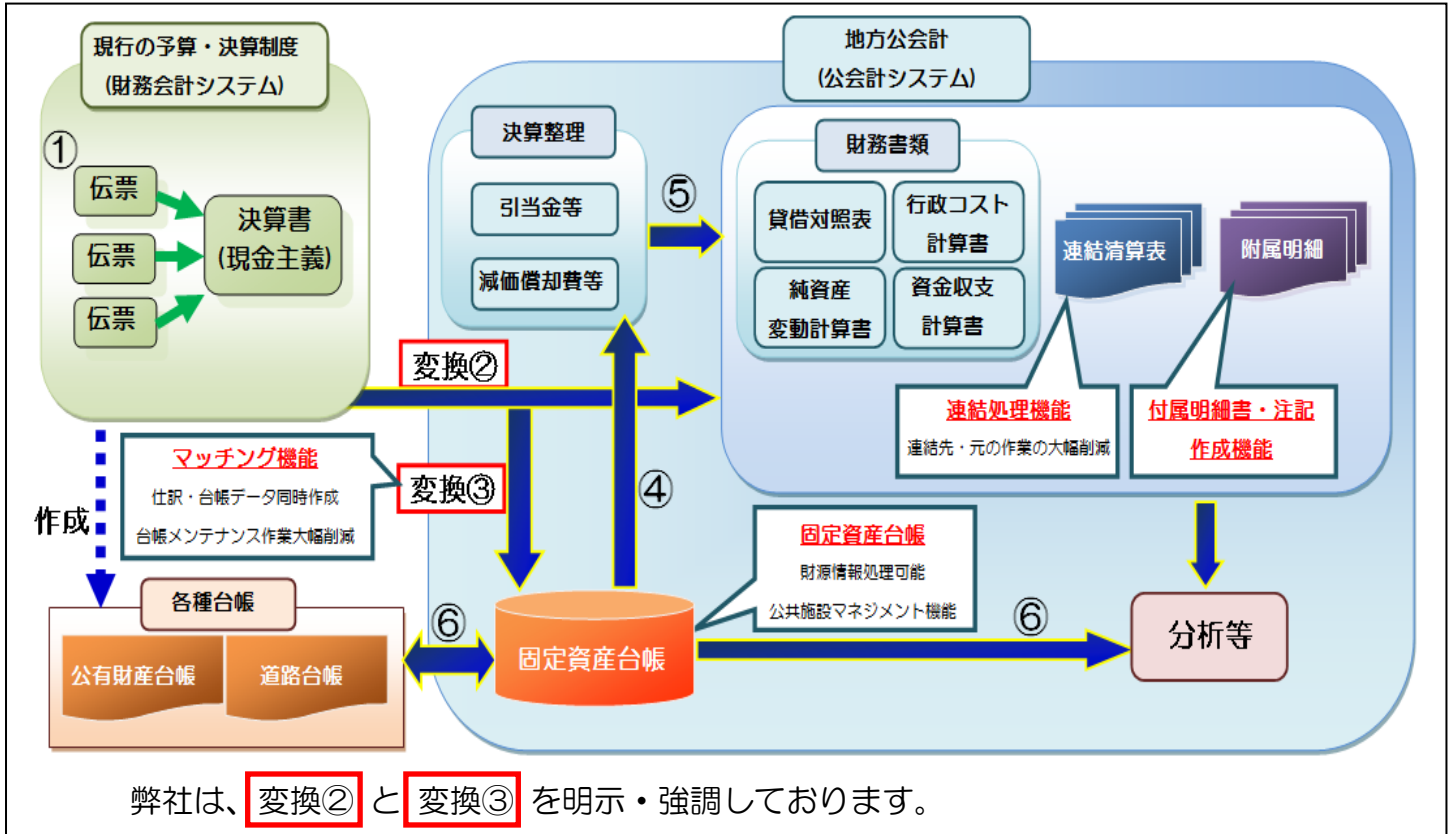
安心経営株式会社 〒010-0951 秋田市山王5丁目7-28 TEL: 0120-42-4455

秋田中央税理士法人 E-mail: [t.sugiyama@annshin.net](mailto:t.sugiyama@annshin.net) HP: <http://www.annshin.net/>

担当: 菊地

成田

統一基準による財務書類の構成図は、下記のとおりです。



### 執行データの詳細な振り分けにより資産と費用を管理できます

マッチング時の執行データと資産の振り分けについては以下の2本立てで対応可能です。

- 複数の執行データも正しく固定資産に振り分け
- 1つの執行データから資産と費用を振り分け



異なる複数の執行データについて、1つの資産として計上します。

1つの支出伝票の内容が資産と費用にわかれる場合、資産と費用にわけて計上します。

これからの使う公会計は、自治体運営の実務へ“切れ目なき”公会計データの提供を実施することです。事務事業や施策事業の評価など、自治体現場に軸足置いたご支援をします。

### 更なる先の公会計へ 自治体運営実務へ“切れ目なき”公会計データ提供の実現

### これからの 使う公会計

